第33回 全国読書作文コンクール対象図書一覧

今年も読書作文コンクールの季節がやってまいりました。

毎年たくさんの作品をご応募いただきありがとうございます。

今年の対象図書が決定いたしました。

どの図書も素敵な作品なのでぜひ読んでいただきたいです。

【小学生の部】

図書名　：　おかあちゃんに　きんメダル！
いどき　えり　著　　定価 1,320 円（税込）　　国土社

子どもにとって毎日を一緒に過ごしてきた家族のことはなんでも当たり前。障害があっても、母親はふつうに母親。ところが、このお話の主人公「ぼく」は、1年生の授業参観という思わぬきっかけで、初めて「おかあちゃん」の障害に疑問をもちます。クラスメイトからケンカの勢いで母の右手が「ぶらぶらしている」と指摘されたせいで、そのことばかりを考えてしまいますが、気をつかって母に直接たずねることができません。父にたずねると、かつて交通事故で大ケガをしたため、母の右手に神経がかよっていないことを教えてもらいます。そして、みんなにじろじろ見られるのはいやだという思いやりや恥ずかしさから、つい習い事に一緒に行きたくないと母に言ってしまって、自分を責めることに。一方、母の障害を指摘したクラスメイトも…。障害という難しいテーマに正面から向き合いつつ、親子関係に生じざるをえない心の動きにも迫ろうとしている幼年童話です。

図書名　：　ぼくの犬スーザン
ニコラ・デイビス　著　　定価 1,320 円（税込）　　あすなろ書房

　ジェイクは「まぶしい光」や、「大きな音」が大の苦手な男の子。規則正しい暮らしが好きなのに、クリスマスが近づくとクリスマスツリーが光っていたり、音楽が大きな音で流れたりして、ジェイクにとっては受難の季節です。小学校中学年になったジェイクは、今年もこの季節が近づいてきたことを知り、クリスマスを妨害しようと画策します。でも失敗し、父母が言い聞かせますが、ジェイクには言葉が嵐のようにうずまくだけでわかりません。家から逃げ出し、自分だけの秘密の場所にかくれました。するとそこに不思議な犬があらわれます。動物が大好きなジェイクはすぐになかよくなり、スーザンと名づけました。そして、ジェイクは少しずつ変わりはじめます。守られる一方だった少年が、はじめてだれかを守ろうとします。この健気な姿に誰もが胸を熱くすることでしょう。そしてそのスーザンの存在が、苦手なことに直面したジェイクを助けることになるのです。

図書名　：　びわ色のドッジボール
もり　なつこ　著　　定価 1,540 円（税込）　文研出版

　小学五年生の翼は、ドッジボールのことでクラスメイトとケンカになり、学校に行くのがどうしてもいやになった。翼はいじめられてはいないけど、クラスに居場所がない。ある日、翼は学校を休み、フリースクールに通っている従妹のまいちゃんを訪ねた。まいちゃんも翼と同じように、ある時期学校に行けなくなったことがあった。翼は、まいちゃんの話を聞きながら、自分の気持ちと感情について少しずつ冷静に考えられるようになっていく。そして、おじいちゃんとおばあちゃんから、戦争の頃のつらかった体験を聞かされた翼は、友だちやクラスメイトへの思いが募っていく。学校では、クラス対抗のドッジボール大会がせまってきた。思い切って学校へ行ってみた翼は、ケンカの原因になったドッジボールの大会に出ることに抵抗があったが……。周りの友だちや家族の温かさにふれ、思いなやむ翼の心の成長を描いた物語。

【小学生・中学生共通】

図書名　：　リメイク！
あさだ　りん　著　　定価 1,540 円（税込）　　フレーベル館

手芸クラブで楽しく活動してきた由希。新学期が始まり、手芸クラブの 6 年生メンバーは、親友の莉奈とふたりに……。しっかり者だからという莉奈の推せんで、クラブ長にされた由希だが釈然としない。新メンバーの小５男子ひかるの態度もいちいち気になる。ＰＴＡバザーでの手芸品販売の計画に、由希はこれまでと同じ、はぎれ布で作るフラッグを提案するが、ひかるたちに「ダサい」と反対される。そこで副部長の莉奈といっしょに考えた髪の毛を結ぶシュシュを再提案。クラブメンバーも賛成し一致団結する。そんな矢先、弟とサッカークラブの子たちの「男が手芸クラブなんておかしい」とか、父親の「家の食事は母親の手料理でないとダメ」などの発言に腹を立てる。はぎれ布をリメイクして新しいものに作りかえるように、弟とサッカークラブの男子、父親の考え（ジェンダーロールの固定観念）を作り直しちゃおう、と由希と手芸クラブメンバーが楽しく奮闘する。

図書名　：　クイズ研究会　チームスリー
まはら　三桃　著　　定価 1,650 円（税込）　　金の星社

幼なじみの冴と利斗、そして新メンバーとなった一歩の三人だけのクイズ研究会。冴は、あわて者で、わがままな発言によって仲の良かった友人ひなのとけんか中。利斗は、本番に弱いあがり症。一歩は、もの知りだが協調性に欠けてマイペースと、頼りないチームでした。そんな折、最強ライバルのチームエコルの三兄妹が、自分たちのマンションに引っ越してきます。最初は気まずかった雰囲気が、やがてチーム合同で毎日特訓に励むまでになり、だんだんと結束していきます。
そして、ハワイ旅行がかかったテレビクイズ番組の決勝戦で、両チームは争うことに・・・。はたして、チームスリーは勝てるのか？そして、冴とひなのの友情は？ストーリー内に出てくる色々なジャンルのクイズにも、読みながら楽しく参加できます。クイズバトルを通じて、メンバーの葛藤と友情をさわやかに描いた痛快読み物です。

図書名　：　タブレット・チルドレン
村上　しいこ　著　　定価 1,540 円（税込）　　さ・え・ら書房

一人一台タブレットの校外学習で、あたえられた課題はなんと「子育て」!? 生徒二人がペアになり、タブレットの中でＡＩ（人工知能）の子どもを育てるという。心夏と温斗のペアがさずかったのは、“超毒舌小学生”マミだった……。

「いいよ、もう。お母さんには無理。」

胸にぐさりと刺さるマミの言葉。それは、心夏もよく母親に言うセリフだった……。

愛されたい、愛したいのに――ＡＩは容赦なく、ごまかしていた感情をあばく、あいまいな人間関係を揺さぶる！

はたして心夏たちの子育てのゆくえは？　母娘のつながりは築けるのか？

親の立場で子育てをして、初めて見えてくること、わかること。これが、今もう、すぐそこにある新次元の教育現場なのか。家族の関係や恋愛、友情について価値観を広げることができる一冊です。

図書名　：　それでも僕は歩き続ける
田中　陽希　著　　定価 1,540 円（税込）　　平凡社

日本の名山 301 座の踏破を目指し、陸では徒歩とスキー、海ではシーカヤックとパックラフトを使って、10,000 キロメートルを自分の体力だけで突き進む！　そんな驚きの挑戦、「日本三百名山ひと筆書き」を行ったプロアドベンチャーレーサーの田中陽希さんが、旅の途中で、次世代を担うみんなに向けて語ってくれました。家族で富良野に移り住み、スキーに夢中になった少年時代から、アドベンチャーレースへの挑戦、背中を押してくれた人々との出会いと悲しい別れ、旅に対する考え方や準備のお話、日本の風景について、災害や地球環境のこと……。本気で何かに挑戦すると絶対に誰かが応援してくれる。何かを成し遂げると次の扉が開ける。「これだ」というものに出会うとはどういうことなのか、すでに何かに挑戦している人にも、好きなことが見つけられない人にも、人と会うのが面倒くさいという人にだって、この本を読んで知ってほしいと思います。

【中学生の部】

図書名　：　＃マイネーム
黒川　裕子　著　　定価 1,540 円（税込）　　さ・え・ら書房

「とりあえず、さけぼうか。あたしの本当の名前」
中学一年生の明音は、この春、両親の離婚によって名字が変わった。新入学した杜中（モリチュー）では、“さんづけ”運動がはじまり、新しい名字が強調されることに。最悪だ。そんなとき、ＳＮＳで、地元中学生限定のスレッド【自分の名前がきらいなやつ集まれ #マイネーム 】に出会う。スレッド主が、“さんづけ”運動に反対して、自分の呼ばれたい名前の名札をつけようと呼びかけると、名前にそれぞれの不満を抱える明音たち一年生は熱狂した。そして、「杜中名札事件」がぼっ発する。
仲たがい、裏切り、大人たちの反撃……事件は思いもよらぬ展開へ。はたして、明音たちの心のさけびは届くのか――。
改姓、学校主導の「さんづけ」運動、夫婦別姓に、国籍や障がい……名前にまつわる身のまわりの矛盾に、全身全力で抵抗する 13 歳たちの姿を描いた、胸熱くなるエンターテイメント作品です。

図書名　：　東京タワーに住む少年
山口　理　著　　定価 1,540 円（税込）　　国土社

高さ 250mにある東京タワーのトップデッキ。そのさらに上に隠された研究室レインボー・センターでは、小学生とは思えないほどの科学オタク田所健人が、曾祖父から半世紀以上も受け継がれてきた夢を実現し、真の意味で東京タワーを完成させるべく、秘密の研究に取り組んでいた。ところが、大人顔負けの科学知識をもつ健人は、自分の考えや行動を周囲に理解してもらったり、他人と協力したりすることを諦めており、自分だけの力で切り開いてこそ真の科学だと信じていた。そのため、ひとり理論的・技術的な壁をなかなか乗り越えられず、あい路にはまっているが…。日本の科学の未来を拓くべく、原子力・防衛・宇宙物理学といった分野で研究のベースとなっている高出力レーザー技術をはじめ、プラズマ理論、プロジェクション・マッピング、空中ディスプレイなど最先端の科学知識を意欲的に盛りこみ、孤高な少年が夢を追いながら成長する姿を描いた壮大な物語。

図書名　：　ソラモリさんとわたし
はんだ　浩恵　著　　定価 1,540 円（税込）　　フレーベル館

　無口な小学６年生の美話はある日、秘密のメモ帳を落としてしまう。夏休みの宿題で出された書きかけの童謡詞がつづられていて、だれにも見られたくないメモ帳を。それをひろったふしぎな女性「ソラモリさん」は、コピーライターを生業にしていた。
書きかけのままの詞を気にしつつも、美話は流されるまま、ソラモリさんの家へ通うようになる。そこでは、〈食べすぎないように食べろ〉をモットーに「ベロ部」を立ちあげたり、過去の失恋に落ちこむソラモリさんをなぐさめたり、自由研究として映画のキャッチコピーを考えてみたり。ときには映画館や図書館に行ったり、美話はしらずしらずのうちに、ソラモリさんの＜言葉レッスン＞の手ほどきを受けていく。自由奔放で一見子どもっぽいソラモリさんにあきれながらも、いつのまにか美話の閉ざされた心は少しずつひらいていく。そして詞が完成したとき、美話のなかで凝っていた「言葉」が、花ひらくのだった。

第３３回読書作文コンクールの応募締め切りは

令和5年8月27日(日)です！

たくさんの方からのご応募お待ちしております！